

独立行政法人 国立病院機構

四国こどもとおとなの医療センター

こもれび通信

Shikoku Medical Center for Children and Adults®

光と影、人物と植物、バランスを保ちながら循環する命の恵が、全ての人をこもれびのようにやさしく包み込みますように…

ボランティア控室から

四国こどもとおとなの医療センター 事務部 非常勤職員

「失礼します、ボランティアですが、絵の交替にきました。」

「お部屋に入ってもいいですか」

2018年から始めて一度も断られたことはありません。驚きです。

子どもは絵を選ぶ時、あまり感情を言葉にしません。しかし、好き・嫌いによく分かっています。尋ねると、うなずいたり、首を振ったり、迷っていても大人より早く絵を選んでくれます。お母さんが「良かったね」と言うと、自信満々な表情を見せてくれます。私はいつも、このハッピーな表情に胸打たれています。

大人の病室に入る時、「気に入る絵があるといいな」といつも思います。しかし、この不安はいつも無駄です。

絵を交替した後、

「絵は真っすぐになっていますか」

「ここにある全ての絵は“祈って”“待って”“寄り添って”の思いで描いてもらった絵なんです。とてもいい絵ですね。」と、伝えると自然に患者さんの表情がゆるみます。私は心で「good job!!」と叫びます。

この短い会話は、患者さんとの距離を縮めてくれる魔法の言葉です。

いろんなエピソードがあります。

① 入院の度に絵を指定する少年がいます。「水族館」

の絵です。

先日、他の中学生くらいの少年に、この絵を紹介したところ「この絵は“画力”がある」と言って、非常に喜んでくれました。元気をくれる素晴らしい絵のようです。彼がこの絵と出会えたことは、神様の計らいのような気がしました。

② 「木に引っかかった赤い帽子を、一生懸命とっている少女の絵」が気になっている女性がいました。「大切な帽子なんでしょうね」

この私の一言から、女性の口からどんどん言葉があふれ、みるみる笑顔になった方がいました。

後日、この女性が「ボランティア室を訪ね、たくさん話をして帰ったよ」と聞き、嬉しくて飛び上がりました。

③ 10代の女性ですが、付き添いのお母様が好きな絵を掛けたいと言うのです。お母様不在のためビデオ通話で絵を選んだのですが、こんな“思いやり”があったとは！感動しました。

“祈って”“待って”“寄り添って”の思いで描かれた絵は、私の不安をよそに、患者さんの心に届いてくれます。

この絵はシンプルだから良い。

この絵は脳トレになるから良い。

この絵は孫に似ている。

受け入れ方は、本当に人それぞれだと実感しています。





令和4年 9月の屋上庭園

9月に入っても相変わらずな暑さですが、朝夕は秋を感じる風が吹くようになりました。

屋上庭園も少しずつ秋の装いになって来ました。

屋上庭園を迎えてから3年目の姫リンゴの木、やっと初めて実を付けました。最初は6個の小さな実がついていましたが、生き残ったのは2個。8月の終わり頃から、少し

ずつ少しずつ色づきだし、こんなにも小さくてかわいいリンゴになりました。

もう少ししたら収穫して、重心病棟の秋のクッキング会の時にみんなに見て貰おうと思っています。みんな喜んでくれるかな～。来年のクッキング会の時はリンゴ飴がたくさん作れるくらい実るといいな～。



秋の庭の主役は、アメジストセージ。圧巻のボリューム、そして秋晴れの青い空を背景に咲き誇る紫の花。その上花持ちもいいという優秀さ！

まだまだサルビアも元気いっぱい。コリウスやアルテルナンテラ達の色の共演。カラーリーフ好きの私にはたまらない色の絨毯。



地域医療連携病院紹介

医療法人社団 重仁

まるがめ医療センター

香川県丸亀市津森町219番地

理事長 松本 祐蔵 / 病院長 藤本 俊一郎



Pick up

まるがめ医療センターは、丸亀市中心部に位置し病床数300床、一般病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、障害者病棟の体制を有し、中讃地域における中核医療機関として地域医療に貢献しています。



また、内科、外科、整形外科をはじめ19の外来診療科の他に内視鏡センターや乳腺・甲状腺センター、子どもの発達障害や脳性麻痺などの治療、支援を行う小児リハビリテーションセンター、成人を対象とした健康管理センターでは各種の健診業務を行うなど、地域に必要性の高い医療の提供を行っております。

また、在宅療養されている患者様やご家族が安心して自宅で過ごせるように、在宅医療担当医(かかりつけ医)からの入院要請に対応する在宅療養後方支援病院としての機能も有しております。

今後も、地域の医療機関と密接な連携のもとにしっかりとした役割を果たして切れ目ない医療の提供を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



独立行政法人 国立病院機構

四国子どもととなの医療センター

〒765-8507 普通寺市仙遊町 2-1-1 TEL 0877-62-1000 <https://shikoku-mc.hosp.go.jp>
交通機関 ▼普通寺 IC より車で5分 ▼JR土讃線普通寺駅下車徒歩25分

発行日 / 令和4年11月21日

発行者 / 横田 一郎

編集委員 / 前田 和寿

